

## 【自由意見などへの回答（岡見まちづくりセンター）】

Q. 部活動が自由になった（なぜ）。地域活動に位置づけてはどうか。

A. 部活動は義務ではなく元々任意のものです。また、中学校における地域系部活動の設置も良いアイデアに思います。まちづくりセンター及びまちづくり推進委員会から学校へ働きかけてみてはいかがでしょうか。また、部活動においては地域移行が検討され始めています。受け皿づくりが急務ですが、指導者に対する報酬問題や安全の確保など課題は多いです。国や県の動向も注視しながら、部活動の選択肢の提供を含めた環境改善に委員会としても努めます。

Q. 子どもとの交流や地域間交流へ活用できる移動車両確保。

A. 福祉バスの利用制限もあることから、あいのリタクシーの活用も含め研究してまいります。

Q. 親御さんの支援が必要。子ども以上に親が悩んでいるのでは。窓口つくるだけではだめ。悩みがあったときに助けを求められる何か家庭支援ができないのか。場所があることが地域の力ではないのか。

A. 学校、教育委員会、民生児童委員、子ども・子育て支援課、やまびこ学級、青少年サポートセンター、子育て世代包括支援センターなど相談窓口は様々ありますが、身近な相談しやすい場の確保についても研究してまいります。

Q. JAのところでは皆さんが出てくるときに血圧を測ったりしている。そういうときにミニ講座などを入れてくれると考える機会になるのでは。

A. 集いの場を活用した講座は大切だと思いますので、担当部局へ提案してまいります。

Q. 食改さんが塩分測定器を持って職場訪問している。測定器を全家庭に配ってはどうか。気付きの提供が重要。議会だよりチェックシートなど啓発用のメッセージ等を載せてはどうか。

A. 日頃の塩分や野菜の摂取状況をチェックすることは大切ですので、減塩活動を進めるために市民の皆様にとって必要かつ有効な取組につながるよう研究してまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800